

球児のドラマ連日

第96回全国高校野球選手権和歌山大会は22、23日で準々決勝4試合が終わり、ベスト4が出そろった。これまでの試合は熱戦が多く、一球に思いを込める高校球児のドラマが連日、繰り広げられた。紀南勢も懸命なプレーを随所で見せ、応援に駆け付けた人々を感動させた。

和歌山大会

第96回全国高校野球選手権

応援席

チームに声援を送る田辺の応援団
(和歌山北戦で)



クロスプレー

田辺の捕手小谷直也がタッチするも本塁は開一塁セーフ(那賀戦で)



校歌斉唱

9年ぶりに初戦を突破し、校歌を歌う新宮ナイン(慶徳戦で)



スクイズ

(北宮戦で)

田辺工業の氏川拓真が体勢を決めながらスクイズを決める



悔し涙

試合に敗れ、ベンチ前に整列する南紀龍神の選手たち(足林戦で)



粘投

気合のこもった投球を見せた神島の岡本克哉(紀史館戦で)



試合終了

「ありがとう」。試合終了後に言葉を交わす熊野と南都の選手たち